



公益社団法人 地域医療振興協会

台東区立台東病院

台東区立老人保健施設 千束

あさがお通信

asagao-tsushin
2010 spring・summer



台東区立台東病院

台東区立老人保健施設 千束

開設1周年を
迎えました



区立台東病院 管理者・病院長
山田 隆司



まさしく地域に育ててもらおう病院ということとを改めて実感する行事でした。今後とも地域活動によって、是非、病院老健を盛りたてていただけることを願います。地域からのさまざまなご提案をもとに、これからも企画を考えていきたいと思っています。

前日に町会の皆さんが下見をされた際に、担ぎ棒の長さがエレベーターにおさまらないことがわかり、切る決断を下さしました。心苦しいと思いつつも、大変有難かったと一同感謝しております。翌週には大鷲町会の神輿にもホールに入っていたいただき、病院も祭り一色という5月でした。

三社祭の賑わいも過ぎ、梅雨の到来を待つ時節となりました。三社祭のさなかの5月15日には、千吉町会さんのご厚意により、吉原神社の子供神輿を老健施設内で披露していただきました。入所者の方々は予期せぬ行事に眼を丸くしながら、普段はなかなか自由にならない体を職員も驚くほど活発に動かし、楽しい時間を過ごされました。中には子供達に触れて、手を離さないようなそぶりをされる方、眼を潤ませて喜ぶ方もいらっしゃり、それを見てまた職員や町会の皆さんが胸を打たれるというシーンもありました。地元の祭りの持つパワーに圧倒されたひとときだったようです。

三社祭の賑わいも過ぎ

「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます。

今回の「あさがお通信」は「医療技術部」が担当しました。いかがでしたでしょうか？

医療技術部は、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室の各専門分野から構成されており、医師・看護師等と連携をとりながら、それぞれの専門知識と技術で、患者さんに合わせた医療を提供しています。

安心かつより良い医療が受けられるように、専門知識・技術の向上に日々努めてまいります。

ご意見やご感想をお待ちしています。



薬剤室



放射線室



検査室



栄養室



リハビリテーション室

台東病院・老健千束は「公益社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。

地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・老人保健施設 千束
〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号 / TEL 03-3876-1001

シリーズになるといいな…シリーズ



地域交流活動日記 No.4 「待合健康教室を聞いて」

台東区立台東病院では月1回「待合健康教室」を1階エントランスホールにおいて開催しています。3月31日の講演は、耳鼻咽喉科高澤玲緒医師による「花粉症」と副管理者 杉田義博医師による「台東病院の総合診療方式について」でした。

まずは「花粉症」の講演。この季節は花粉が多く飛び、日本各地で花粉症に悩まされている人が多いと思います。高澤医師の話は一般的な治療から最新の治療まで、とても分かりやすいためになりました。また、レーザーで鼻の粘膜を焼いても根治的な治療にはならないことや、花粉のエキスを舌の下に垂らす舌下減感作療法等、初めて知ることもあり驚きました。患者さんにとっても参考になる内容だったと思います。

杉田医師の講演では、区立台東病院ならではの総合診療が患者さんにとって大変心強い味方であることが分かりました。大病院では各専門科が分かれているため、診断のつかない方はいろいろな専門科に回されますが、ここでは、まずは総合診療科が診て判断し、必要なら院内の専門医に診てもらおう。さらにそれ以上の治療を要する場合は専門医のいる病院に紹介する。総合診療方式にはそういったメリットがあります。

台東病院の理念である「ずっとこのまちで暮らし続けたいを応援します」を、まさに実現するために総合診療科があるのだと実感しました。

今後とも職員全員で患者さんの医療を支えていきたいと思っています。

地域懇談会を開催

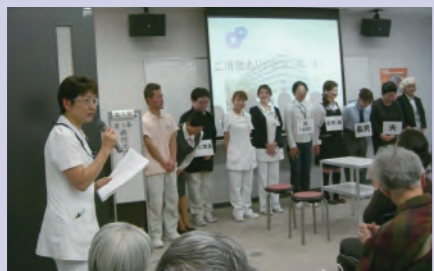
1月29日に地域の方に向けて「地域懇談会」を開催しました。

第1部は、当院総合診療科外来を月曜日午前中に担当している山口 潔先生による認知症についての講演。参加者は110名で、その数の多さから認知症への関心の高さがうかがわれました。認知症と聞くと重く受け止めがちですが、「認知症は特別な病気ではなく、老いの自然経過です。バランスの良い食事、規則正しい生活、周囲のサポートを得て、チームで支えてもらいましょう」という山口先生のソフトな語り口に、参加者はほっと安心した表情になりました。講演後の質疑応答では、「認知症の予防としてデイケアで利用者さんに計算をしてもらっているがその効果は？」、「デイサービスを利用したいが本人が行きたがらない。どうすれば行くようになるか？」などの質問がありました。時間に余裕があればさらに多くの質問が寄せられたと思います。シリーズ化を望む声もありました。

第2部は日本堤消防署より東京ルールについての講演。救急車の効果的利用法について、台東区ならではの救急隊の業務を知ることができ、地域の方の関心度は高かったようです。

そして第3部は当院スタッフによる寸劇です。タイトルは「私を責めないで」。内容は、妻が認知症になってしまった高齢の夫婦が、家族や民生委員等の地域の方と協力し、支えあうというものでした。「寸劇は今後も続けてほしい」という声をたくさんいただき、また役者になった職員が当院の中で、寸劇をご覧になった方とすれ違った時に「お芝居よかったですわ」と声をかけていただけるとの嬉しいことです。

この懇談会が地域の方々とのつながりの場となればと願います。



寸劇に登場したスタッフ



寸劇 診察室にて



寸劇 家族の場面



山口 潔先生による講演

患者さんのこえ

待ち時間に院内のコンビニで休むことも楽しみの一つですが、現状ではほとんどの通院患者さんはコンビニの存在を知らないのではないのでしょうか。

ご返答 病院内各所に、コンビニの案内を増やしました。また、夜間、日曜日には時間外入口の近くに案内ボードを設けました。多くの皆さまに「生活彩家」でくつろいでいただけたら幸いです。



「生活彩家」のイートインコーナー

病院全体に車椅子が不足しているようですが、もっと増やしていただけたら患者さん、看護師さんたちが助かるのではないのでしょうか。

ご返答 ご不便をおかけしておりましたが、2010年3月に12台新規購入しました。

栄養室から「行事食」

栄養室では、入院患者さん・入所者さん・通所リハビリ利用者さんへ、個々の身体状態に合わせた食事を提供しています。毎日の食事に変化を感じていただくため、季節に応じた行事食を年間20回前後実施しています。お正月料理・節分・バレンタインデー・節句・お花見・七夕：等、四季折々の行事食で、より楽しんでいただけるよう心がけています。

写真(左)の行事食は4月4日の「お花見御膳」です(桜・飯・天から・炊き合わせ・厚焼き卵と鶏つくね・清まし汁・抹茶寒天)。桜の塩漬けを飾った桜ご飯をはじめ、旬の「ふき」や抹茶を取り入れて春らしいメニューとなりました。



お花見御膳



桃の節句御膳

診療科紹介

4

整形外科

台東区は高齢の住民が多く、関節痛を患っている方も多くいらっしゃいます。

当科では常勤医師3名を中心に診療を行っており、特に関節痛治療に力を入れて、手術治療のほか、外来通院リハビリ(温熱療法)を4月より開始しました。

膝痛、腰痛、股関節痛等でお悩みの方は、お気軽にご相談下さい。

少しでも多くの患者さんのニーズに応えられるよう、日々努力を重ねてまいります。



整形外科

月・木・土：午前
火・水・金：午前・午後

※外来診療予定は変更等がありますので、事前にお問い合わせください。

1周年記念コンサート開催



台東区立台東病院・老健千束は、2009年4月の開設から1年が経過しました。病院前の桜がちょうど満開になった3月27日、台東病院1階エントランスホールにおいて、患者さんへの感謝の気持ちをこめて、開設1周年記念コンサートが開催されました。

テーマは「優しい癒し」。出演は栃木県出身のダ・カーポ。1973年に「夏の日の忘れもの」でデビューしたダ・カーポは、榎原まさとしさん、榎原広子さんご夫婦のフォークデュオでしたが、デビュー35周年を機に2007年からフルタイムである娘の麻理子さんが正式にメンバーに加わって、現在は3人で活動しています。

当日は老健千束の入所者と病棟の希望者170名、一般の方120名の合計290名が約50分のコンサートを鑑賞。立ち見が大勢出る大盛況となりました。

フォーク調のさわやかなハーモニーが大ヒットした「結婚するって本当ですか」やテレビドラマの主題歌「野に咲く花のように」等、数々の名曲の中には耳懐かしい曲も多く、観客も手拍子を交えながら聴き入っていました。

素敵なお二人と綺麗なフルートの音色、そして観客の手拍子で会場全体が一体となり、鳥肌が立つほどの感動を覚えたことは忘れられません。

台東病院の理念は、「ずっとこのまちで暮らし続けたいを応援します」です。台東区の住民の方に、気軽に台東病院を利用していただくことを、職員一同願っています。その一環としてこのようなコンサートを開催できたことには大きな意義があり、住民の皆さんにお越しいただいたことに感謝したいと思います。